

平成30年度第2回入札監視委員会議事概要

日 時 平成31年3月4日（月） 14時～15時15分
場 所 市役所 分館2階 入札室
出席者 委員等 中尾 宏委員長、田中 孝一委員、廣田 稔委員
事務局 契約課長他契約課職員3名、各抽出案件発注担当課職員

【概 要】

1 開会

(1)委員長あいさつ

2 議題

(1) 入札・契約等の実施状況について

① 入札等契約手続状況報告（平成30年度上半期）

・事務局より平成30年度（上半期）契約課執行分の発注方法・業種別契約件数を報告。

主な質疑と回答要旨

委員：システムは、導入後保守などについて、1年ごとに契約をしているといった説明でしたが、県などでは、導入後の運用を含めて提案を受けるといった動きがあります。このような対応の事例はありますか。

事務局：人事課で使用しているシステムなど、保守を含めた複数年契約をしている事例が若干ですがあります。

委員：システムを導入される段階で、その後発生する運用業務についても契約されているのか、年度ごとに業務の見直しの上契約をされているのか、そのあたりの状況はいかがでしょうか。

事務局：プロポーザル方式で、システムの導入について複数年にわたって総合的な判断を行うという事例は若干ございます。導入後に発生する複数年の費用を含めたシステム等の導入方式を広めていく必要を感じております。また、見直しについては、システム等を導入後、ずっと同じ理由で契約を繰り返すことなく、一定期間で見直しを行うよう改めていきたいと考えます。

委員：導入費用を抑えた価格で契約し、その後に発生する費用が高く設定されるといったことが発生しないよう取り組んでください。また、以前図書館の契約について審議しましたが、ずっと同じ理由で繰り返し契約されている事業が多く見受けられますので、見直しを行うようお願いいたします。併せて、事業の成果の評価を行い、事業内容の見直しも行うようお願いいたします。

委員：随意契約で提出された見積書に書かれた金額が、予定価格を超えている場合がありますか。ある場合、その後の対応はどうか教えてください。

事務局：極まれにございます。予算担当課が価格交渉等を行ったうえでその結果をもとに契約をしています。

委員：入札の場合は、競争があるので、価格が下がるとは思いますが、随意契約では価格についてどのように対応していますか。

事務局：契約課が取扱う随意契約は、特定の業者と契約の締結を行うことから、予算担当課が、予算要望前から、業者に対して価格交渉を行っています。

委員：随意契約の場合は、競争がないだけに、予定価格に近い金額で見積金額が出てくるということでしょうか。

事務局：予算自体を事前の価格交渉結果により要望していることから、そのような結果になります。

委員：予定価格自体の決め方、予定価格の妥当性の判断はどのようにしていますか。

事務局：予定価格は、設計書の金額に基づいて設定されます。設計金額は、工事では積算基準がありますが、他の業務では予算要望時に徴集する見積明細等を参考に設計していることが多い状況です。

委員：4月1日契約に向けた案件の入札公告は、2月上旬から行われるということですが、これだけの数を短期間で対応する契約課の負担も多いことでしょうし、受注者にとっても、発注が集中することによる弊害があるのではないかと思います。何か前倒しで行うような手段はないのでしょうか。

事務局：ご指摘の弊害を回避するため、債務負担行為という予算の計上により、実際に事業が行われる前年度から、準備期間や業務期間として複数年契約を締結することができます。また、長期継続契約を認められている業務は、年間を通じて継続的に業務が行われる性質から、発注期間の起点を年度途中に変更することができます。

委員：対応する手段があるようなので、受注者・発注者ともにメリットがあると思いますので対応に努めてください。

② 抽出事業の審査

I 四街道市立千代田中学校校舎大規模改修工事（電気設備）

- ・事務局の低入札制度等の説明

主な質疑と回答要旨

委員：低価格の主な理由はなんですか。

事務局：電灯設備機器の調達が高価であることによります。メーカーと年間取引額が大きいことにより高価な調達が可能ということでした。

委員：完成時の検査後、1年後2年後と経年劣化などを検査するしくみはありますか。

事務局：契約で瑕疵担保期間を設定しており、完成検査後については予算担当課によって確認している状況です。

委員：市民感情として、安かろう悪かろうといったものがあると思いますので、低入札の審査は慎重をお願いします。

II 大崎コンピュータエンジニアリングとの随意契約7件

- ・事務局の概要説明

主な質疑と回答要旨

委員：システム関連を統括して管理する体制はありますか。トラブル処理の対応はどのように行っていますか。

予算担当課：ヘルプデスクに直接問い合わせをしており、業者から対応状況の報告をもらって把握しています。

事務局：庁内組織として統括して対応する体制は整っていません。

委員：教育ネットワークは、かなり前に導入されていますが、見直し、システムに関する新しい提案を求めることをしていますか。

予算担当課：現状では行っていません。教育現場では、人事異動などを踏まえシステムの変更には消極的な状況にあります。

委員：市民感情として、10年以上同じところと契約を継続していることは、理解しがたいものだと思います。合理的な説明ができるよう、努めていただきたい。更に近隣市の状況など、横の連携により情報収集を行いながら検討を進めてください。

Ⅲ 消防設備保守点検委託

- ・事務局の概要説明

主な質疑と回答要旨

委員：開札から契約締結まで短期間といった説明がありましたが、受注者は、こういった案件をいつごろ認識できるのでしょうか。

事務局：本件のような年度当初の案件の場合は、入札公告によって認識することになります。年度当初の案件でなければ、予算書や予算に基づいた発注予定が公表されますので、おおよその時期は把握できます。また、契約結果の公表資料により、毎年、あるいは定期的に契約が繰り返されている案件は、発注の時期や周期を把握できます。

委員：先ほどの、入札・契約等の実施状況についての時にも言いましたが、契約課の業務としても集中しているようですし、短期間という現状は好ましくないと思います。場

合によっては、手一杯で入札に参加できない企業もあるかと思えます。説明で予算の取り方等で発注時期を変えられるということでしたので、取り組みをお願いします。

事務局：債務負担行為といった方法で事業実施の前年度から予算を執行するという方法がありますので、活用していきたいです。業者さんとの話の中でも、発注時期によって状況が様々だということでしたので、競争性を確保できる発注時期を見極めていきたいと思えます。

委員：例えば、業務の期間の始まりを9月とか10月からといったことも可能なのでしょうか。

事務局：予算上の会計年度にとらわれず、日々継続している業務がございます。庁舎の機械警備や清掃業務などの委託業務や、複写機の賃貸借などですが、複数年にわたって長期継続契約を締結することが可能です。しかしながら、会計年度という固定観念が影響してか、長期継続契約のメリットを生かしきれていない状況ですから、予算担当課と調整し導入していきたいと考えます。

委員：今回とりまとめられた予算担当課の方にも出席いただいておりますが、とりまとめることについては、どのようにお考えですか。

予算担当課：入札結果から、効果は大きいと思えます。多くの施設をまとめていることから、施設の管理面の問題を解決できれば、予算を一本化したほうが更に予算執行手続き上でも効率的になると考えます。

委員：この入札結果から、効果は大きいと思えますので、同様にまとめられる業務があるようでしたら取り組んでいただきたいと思います。

IV 長寿者褒賞用記念品購入

- ・事務局の概要説明

主な質疑と回答要旨

委員：高齢者用のお祝いにギフトカタログを購入して渡すということですが、カタログは市に納入されるのですか。

予算担当課：高齢者への贈呈は、担当地区の民生委員さんをお願いしているので、発注時に民生委員さん宅を納品先として指定しています。

委員：納品先が民生委員さん宅ということは、年齢ごとに設定したカタログの金額を送料込で競争する入札ということですか。

予算担当課：はい。そのとおりです。

委員：対象年齢別に人数を把握されていると思いますが、その情報は、業者さんに提供するのでしょうか。

事務局：発注予定数量として情報提供しています。

委員：この業務の性質ですと、特に発注時期が4月1日でなくてもよい印象がありますがいかがですか。

事務局：入札結果を見ると、1者しか応札していただいていません。このことは、発注時期が適当でないのか、業務内容が特殊なのか原因を確認できていませんが、理由があると思います。原因を究明しながら、適切な発注時期を判断していきたいと考えます。

委員：契約金額を見ると額が少ないので、業者としては、あまり旨みがない業務という印象があります。応札が少ない理由の一つだと思います。

委員：高齢化が更に進むと、記念品を渡す対象数が増えると思いますが、対象の決定などは、いつごろ行われますか。

予算担当課：予算要望を10月くらいに行いますので、担当課の方針は9月くらいまでに決定されます。ご指摘のとおり対象者は増加していますから、全体的には、対象範囲を縮小する傾向にあります。人生100年時代を迎えておりますので、年代によっては、記念品をやめて賞状のみに変更する対応をしています。

委員：高齢化が進んでいるので、対象範囲を変えていくことは、予算もあるでしょうから必要だと思います。状況が変われば今までどおりに行かないので、高齢者から不満ができるかもわかりませんが、対応してください。

委員：本件は、一般競争入札にもかかわらず、応札者が1者です。発注時期や内容など

を検討し、競争性の確保に努めてください。

3 閉会